

# シネンシス系デルフィニウムの促成栽培における定植適期

## 1. はじめに

シネンシス系デルフィニウムを11～12月に開花させる暖地における促成栽培の作型は、まだ気温の高い時期に定植する必要がある、この時期の定植では早期抽台の可能性が高く、かつ小花数の少ない商品価値の低い切り花となる危険性があります。このため、暖地における促成栽培での定植適期を検討しました。

## 2. 試験方法

「ハイランドブルー (HB)」および「ブルーミストラル (BM)」の2品種を供試し、2004年8月25日から9月4日、16日、24日とほぼ10日おきに200穴セル成型苗を幅80cmのベットに株間20cm条間20cmの間隔で4条に定植しました。冬季は15℃設定で加温し、10月3日より日長延長法で16時間日長処理を行いました。基肥は1a当たりN、K<sub>2</sub>O、P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>の各成分をそれぞれ1.2kgとし、追肥は全量液肥で各成分1kg施用しました。

## 3. 試験結果

1番花の切り花日は、定植日が早いほど早

く、定植から切り花日までの日数は、9月4日以前の定植では「HB」で74～76日、「BM」で73～75日となりました。また、9月16日以降の定植では「HB」で79～84日、「BM」で80～89日と定植日が9月16日を過ぎると、定植から切り花日までの日数が、9月4日以前の定植に比べて多くかかりました(表1)。

一方、切り花品質(切り花長、茎長、切り花重、側枝数、小花数)は、両品種ともに、9月4日以前の定植では、9月16日以降の定植に比べて、著しく劣りました(表1)。

2番花の切り花日は供試した2品種ともにいずれの定植日においても4月に最盛期となりました(データ略)。また、切り花の上物率は、定植日が遅い程高くなる傾向が認められました(表2)。

## 4. おわりに

以上の結果から、供試した2品種は9月上旬以前に定植すると、1番花のみならず2番花の切り花品質も低下するため、促成栽培での定植適期は9月中旬以降と考えられました。

(園芸部 宮前治加)

表1 品種と定植日の違いが1番花の切り花日と切り花品質に及ぼす影響

品種	定植日	切り花日 <sup>x</sup> (月/日)	定植～切り花日 までの日数(日)	切り花長 (cm)	茎長 <sup>y</sup> (cm)	切り花重 (g)	側枝数 (本)	小花数 <sup>z</sup> (個)
ハイランド ブルー	8月25日	11/9 ± 2.2	76	47.8	16.5	18.4	3.1	14.3
	9月4日	11/16 ± 2.6	74	56.6	21.1	22.3	3.4	16.9
	9月16日	12/3 ± 1.8	79	71.9	36.3	33.0	4.8	28.5
	9月24日	12/17 ± 1.5	84	72.7	35.4	35.0	4.9	29.6
ブルーミスト ラル	8月25日	11/7 ± 2.0	75	40.3	16.3	13.5	3.2	11.6
	9月4日	11/15 ± 1.1	73	51.5	21.9	21.7	4.4	17.5
	9月16日	12/4 ± 1.0	80	67.7	34.8	32.1	5.9	33.4
	9月24日	12/21 ± 1.3	89	70.5	39.1	34.0	6.0	36.1

注)<sup>x</sup> 平均値±標準誤差、<sup>y</sup> 摘心位置までの茎長、<sup>z</sup> 1次分枝の小花数

表2 品種と定植日の違いが2番花の切り花本数と切り花品質に及ぼす影響

品種	定植日	本数			合計	上物率 <sup>z</sup> (%)
		2L <sup>x</sup>	L <sup>y</sup>	その他		
ハイランド ブルー	8/25	1.1	0.9	2.2	4.2	48.5
	9/4	1.5	0.7	2.0	4.2	53.5
	9/16	1.4	0.3	1.2	2.9	60.0
	9/24	2.1	0.5	1.3	3.9	67.1
ブルーミスト ラル	8/25	0.5	0.7	2.2	3.5	36.3
	9/4	0.3	1.1	2.2	3.6	40.2
	9/16	0.6	1.0	1.8	3.3	47.5
	9/24	0.8	1.2	1.1	3.2	64.4

注)<sup>x</sup> 切り花長70cm以上で側枝4本以上の切り花、

<sup>y</sup> 切り花長60～69cmで側枝4本以上の切り花、<sup>z</sup> (2L+L)/総切り花本数×100